

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：2月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 主席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail:nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●3月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表1)、**2月の訪日外客総数(推計値ベース)は7,400人で、2020年8月以来の水準となった。伸びは前年同月比-99.3%と17カ月連続のマイナス。**緊急事態宣言再発令の期間が延長されたことで、入国制限の措置も継続となったため、水準は前月(46,500人)から大幅減少した。

▶訪日外客数を国・地域別にみると、トップ5は中国が1,700人、韓国が900人、インドが600人、台湾、米国がそれぞれ400人であった。それ以外の国では、ベトナムが200人と前月(20,000人)から大幅減少した。

▶上記の国・地域の訪日外客数の伸びをみると、中国、インド、台湾、米国は13カ月連続、韓国は20カ月連続の前年比マイナス。ベトナムは同-99.5%とマイナス幅は前月(同-60.3%)から大幅拡大し、12カ月連続のマイナス。

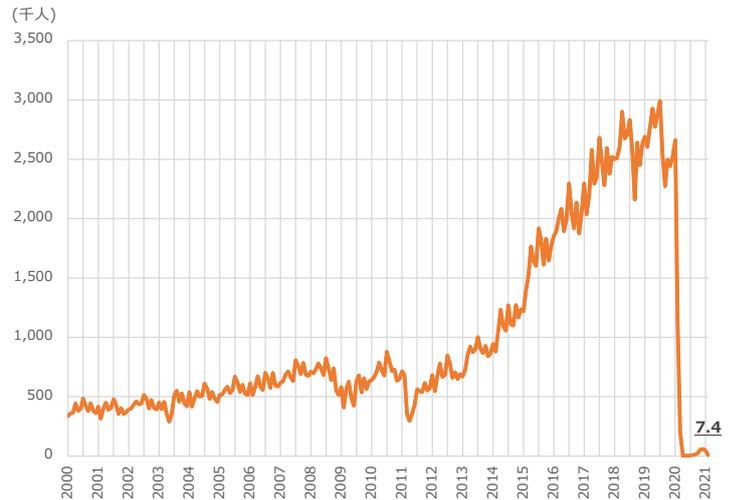
▶なお、緊急事態宣言は3月21日に全国的に解除された。しかしながら、政府は当面の間、入国制限を継続するため、来月以降も訪日外客数は低水準となろう。

▶JNTO 訪日外客統計を目的別にみれば(図2及び表2)、**12月の総数(暫定値ベース)は58,673人(前年同月比-97.7%)**となった。うち、観光客は1,557人(同-99.9%)、商用客は4,051人(同-96.7%)、その他客は53,065人(同-51.8%)であった。観光客、商用客は15カ月連続、その他客は11カ月連続、いずれも前年比マイナスとなった。

▶目的別国・地域別のトップ5をみれば、12月の観光客は米国が417人、中国が136人、韓国が123人、英国が84人、ドイツが82人。商用客は中国が1,006人、韓国が812人、台湾が202人、ロシアが198人、タイが158人。その他客は中国が17,223人、ベトナムが15,651人、インドネシアが3,209人、フィリピンが2,192人、韓国が1,873人であった。

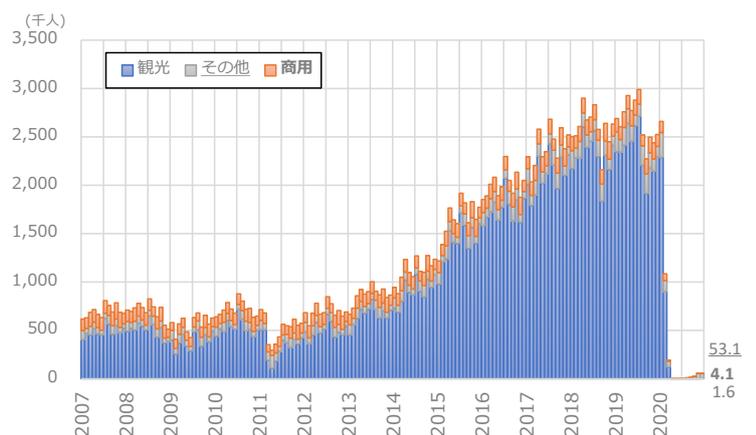
▶**2020年通年の訪日外客数(暫定値ベース)は、411万5,828人(前年比-87.1%)**。うち、観光客は331万2,228人(同-88.3%)、商用客は21万6,028人(同-87.7%)、その他客は58万7,572人(同-68.5%)で、前年から大幅減少した。落ち込み幅が大きい観光客は2004年(383万9,661人)以来の低水準となり、9年ぶりに前年比マイナスに転じた。

図1 訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2019年:確定値、20年:暫定値、21年1月、2月:推計値

図2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注)「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

●2月関西の財貨・サービス貿易の動向

▶2月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は**1,879人**で前月(10,919人)から大幅減少した。伸びは前年同月比**-99.2%**と13カ月連続のマイナス(図3及び図4)。昨年11月以来、3カ月連続で1万人を超えるペースで入国者数は徐々に回復してきたが、2月は緊急事態宣言が再延長されたこともあり、再び昨年8月(1,615人)以来の低水準となった。また、同月の日本人出国者数は2,800人で同**-98.9%**と14カ月連続で減少した。

▶WHOが2020年1月30日に**緊急事態宣言(PHEIC)**を**発出して以来、1年を経過**した。20年2月~21年1月の関空への入国者数の累計は31万2,548人となり、前年同期(839万2,500人)と比較して**-96.3%**の減少となった。月平均70万人から、昨年は同2.6万人と激減した。

▶図4は関空訪日外客入国者数の動態をリーマンショック期、東日本大震災期と今回の3つの時期で比較したものである。昨年2月から開始された水際対策により、訪日外客数は消失した状況が続いている。緊急事態宣言が再延長されており、依然厳しい入国制限が続いていることから、回復については期待薄である。

▶**関西2月の輸出**は中国の春節時期が2月にずれたため、前年同月比**-1.4%**で**3カ月ぶりのマイナス**。一方、**輸入は同+16.9%**と**17カ月ぶりのプラス**。生産活動停止による大幅減少の反動で対中輸入が大幅増加したことによる。結果、関西の貿易収支は2,428億円と13カ月連続の黒字となった。また、貿易総額(輸出入合計)は同**+6.1%**となり、2カ月連続のプラスであった(前月:同+1.9%)(図5)。

▶**対中貿易動向**をみると(図6)、関西2月の**対中輸出額**は前年同月比**+5.1%**であった。伸びは9カ月連続のプラスで前月(同+40.1%)から大幅縮小したが、これは昨年の春節が1月であったことの影響が大きい。中国国内におけるテレワーク需要の増加で、ノートパソコンなどの原材料であるプラスチックなどが輸出増に寄与した。一方、対中輸入額は同**+151.9%**で3カ月ぶりのプラスに転じた。20年2月はCOVID-19の影響で中国の経済活動が停止し、対中輸入が大幅減少したため、今月はその反動があらわれた。輸入増に寄与したのは、衣類や通信機などであった。

図3 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



図4 経済ショックからの回復の比較

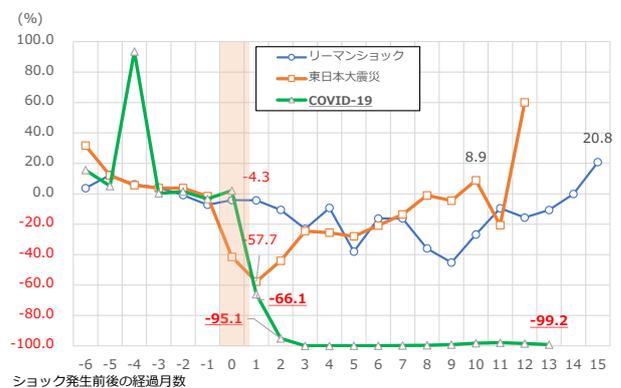


図5 関西 対世界貿易の推移

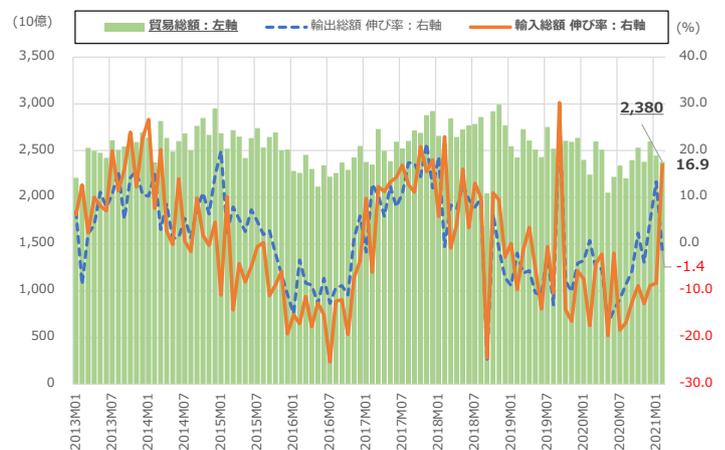
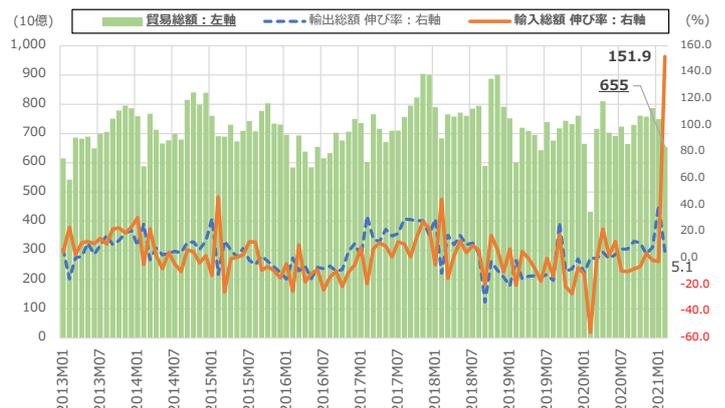


図6 関西 対中貿易の推移



トピックス 2

●12月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶12月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は前年同月比-47.0%と11カ月連続のマイナスとなった。Go To トラベルキャンペーン事業が一時停止された影響で、マイナス幅は前月(同-36.0%)から拡大した。なお、COVID-19感染再拡大(第3波)により、京都府、大阪府、兵庫県に対し緊急事態宣言が1月14日から再発令された。このため、1月の宿泊者数は更に減少する可能性が高く、今後の動向に注意を要する。

▶うち日本人延べ宿泊者数をみれば、5,069.0千人泊であった。伸びは12カ月連続の前年同月比マイナス(同-31.2%)で、前月(同-14.8%)からマイナス幅は拡大(図7)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、京都府が1,227.1千人泊(同-22.8%)、大阪府が1,189.5千人泊(同-53.2%)、兵庫県が880.9千人泊(同-17.2%)、三重県が526.1千人泊(同-16.2%)、和歌山県が307.7千人泊(同-11.5%)、滋賀県が251.8千人泊(同-23.0%)、福井県が229.2千人泊(同-27.3%)、鳥取県が179.5千人泊(同-15.1%)、徳島県が157.9千人泊(同-9.8%)、奈良県が119.4千人泊(同-26.2%)であった(図8)。徳島県以外の府県では前月からマイナス幅が拡大した。

▶うち外国人延べ宿泊者数をみれば、131.2千人泊であった。伸びは前年同月比-94.7%で11カ月連続のマイナス。前月(同-96.0%)からマイナス幅は縮小したが、90%超のマイナスが続く(図9)。府県別に外国人延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が102.6千人泊(同-92.7%)、京都府が12.5千人泊(同-98.4%)、兵庫県が5.9千人泊(同-93.4%)、和歌山県が3.4千人泊(同-90.9%)、三重県が2.6千人泊(同-90.6%)、滋賀県が1.5千人泊(同-95.2%)、鳥取県が0.9千人泊(同-93.8%)、福井県が0.8千人泊(同-90.9%)、奈良県が0.6千人泊(同-98.1%)、徳島県が0.4千人泊(同-96.5%)であった(図10)。

▶2020年通年の関西の延べ宿泊者数は、5,629万人泊(前年比-54.6%)と4年ぶりに減少した。うち日本人延べ宿泊者数は、5,170万人泊(同-42.6%)と、3年ぶりの減少。外国人延べ宿泊者数は459万人泊(同-86.4%)と9年ぶりの減少となった。日本人延べ宿泊者数は、旅行需要喚起策であるGo To トラベル事業の影響で20年後半は幾分戻したものの、前半の緊急事態宣言による外出自粛の影響が大きかった。厳しい入国制限が続いており、外国人延べ宿泊者数は大幅減少の状況が続いている。

図7 関西 日本人宿泊者数の推移

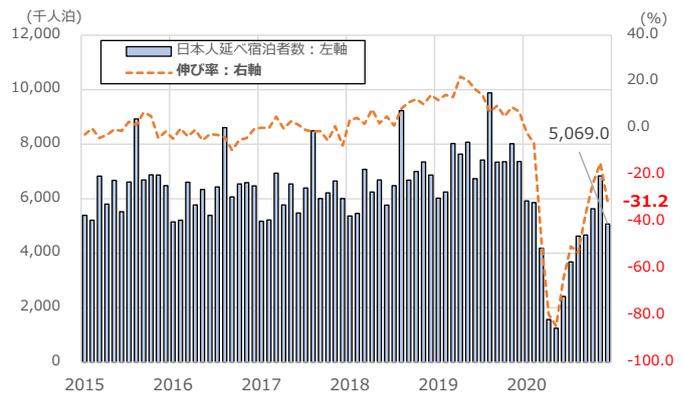


図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

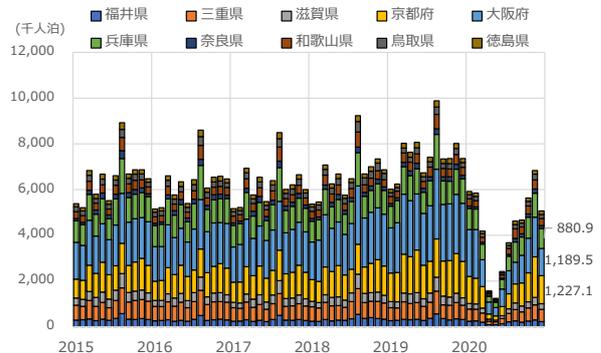


図9 関西 外国人宿泊者数の推移

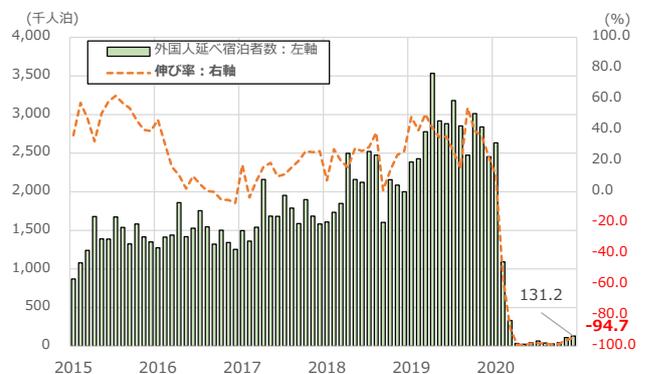
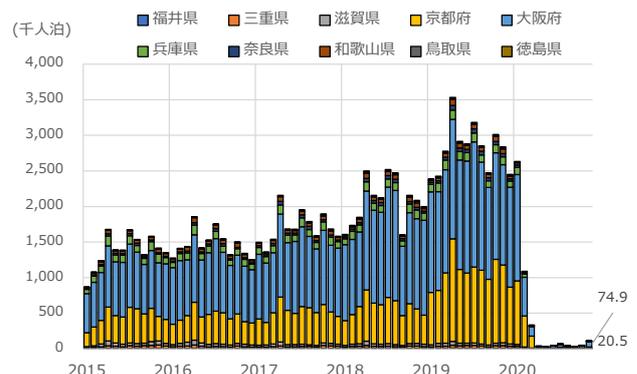


図10 府県別外国人延べ宿泊者数 推移



出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図7~10)

表1 2021年2月 訪日外客数 (JNTO 推計値)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2020年	2021年	伸率(%)	2020年	2021年	伸率(%)
	2月	2月		1-2月	1-2月	
総数	1,085,147	7,400	-99.3	3,746,169	53,900	-98.6
総数(韓国・その他除く)	883,174	4,380	-99.5	3,140,236	42,530	-98.6
韓国	143,896	900	-99.4	460,708	3,400	-99.3
中国	87,220	1,700	-98.1	1,012,010	11,900	-98.8
台湾	220,420	400	-99.8	681,659	1,000	-99.9
香港	115,613	40	-100.0	334,971	240	-99.9
タイ	97,957	90	-99.9	210,491	790	-99.6
シンガポール	19,551	50	-99.7	49,731	140	-99.7
マレーシア	26,589	70	-99.7	71,418	270	-99.6
インドネシア	24,691	200	-99.2	62,231	1,100	-98.2
フィリピン	39,728	200	-99.5	93,316	1,200	-98.7
ベトナム	39,905	200	-99.5	90,329	20,200	-77.6
インド	6,582	600	-90.9	20,466	1,500	-92.7
豪州	48,522	30	-99.9	133,836	130	-99.9
米国	73,373	400	-99.5	190,716	1,600	-99.2
カナダ	17,601	20	-99.9	46,532	120	-99.7
メキシコ	2,968	20	-99.3	7,609	80	-98.9
英国	18,645	70	-99.6	42,965	370	-99.1
フランス	17,123	80	-99.5	33,604	680	-98.0
ドイツ	10,937	50	-99.5	22,126	450	-98.0
イタリア	4,718	30	-99.4	11,639	230	-98.0
ロシア	6,702	90	-98.7	15,101	290	-98.1
スペイン	4,329	40	-99.1	9,486	240	-97.5
中東地域	2,086	30	-98.6	6,351	130	-98.0
その他	55,991	2,090	-96.3	138,874	7,840	-94.4

表2 2020年12月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2020年	伸率(%)	2019年	2020年	伸率(%)	2019年	2020年	伸率(%)	2019年	2020年	伸率(%)
	12月	12月		12月	12月		12月	12月		12月		
総数	2,526,387	58,673	-97.7	2,292,029	1,557	-99.9	124,260	4,051	-96.7	110,098	53,065	-51.8
韓国	247,959	2,808	-98.9	210,261	123	-99.9	22,621	812	-96.4	15,077	1,873	-87.6
中国	710,234	18,365	-97.4	645,786	136	-100.0	32,067	1,006	-96.9	32,381	17,223	-46.8
台湾	348,269	975	-99.7	332,446	48	-100.0	10,054	202	-98.0	5,769	725	-87.4
香港	249,642	287	-99.9	245,797	15	-100.0	2,847	63	-97.8	998	209	-79.1
タイ	164,936	683	-99.6	160,472	13	-100.0	2,496	158	-93.7	1,968	512	-74.0
シンガポール	100,376	121	-99.9	97,736	16	-100.0	2,300	41	-98.2	340	64	-81.2
マレーシア	78,250	300	-99.6	75,655	4	-100.0	1,807	131	-92.8	788	165	-79.1
インドネシア	59,203	3,322	-94.4	54,273	40	-99.9	1,989	73	-96.3	2,941	3,209	9.1
フィリピン	81,542	2,319	-97.2	75,778	35	-100.0	2,083	92	-95.6	3,681	2,192	-40.5
ベトナム	30,606	15,713	-48.7	10,055	14	-99.9	2,766	48	-98.3	17,785	15,651	-12.0
インド	11,739	1,628	-86.1	5,264	17	-99.7	3,839	104	-97.3	2,636	1,507	-42.8
豪州	72,653	164	-99.8	68,892	20	-100.0	2,052	34	-98.3	1,709	110	-93.6
米国	144,498	1,348	-99.1	124,956	417	-99.7	14,447	157	-98.9	5,095	774	-84.8
カナダ	35,132	183	-99.5	32,839	65	-99.8	1,401	20	-98.6	892	98	-89.0
メキシコ	6,499	49	-99.2	6,138	8	-99.9	224	4	-98.2	137	37	-73.0
英国	27,750	353	-98.7	22,695	84	-99.6	3,397	49	-98.6	1,658	220	-86.7
フランス	20,261	449	-97.8	16,403	75	-99.5	2,473	46	-98.1	1,385	328	-76.3
ドイツ	13,639	296	-97.8	9,799	82	-99.2	2,954	55	-98.1	886	159	-82.1
イタリア	11,196	153	-98.6	9,662	31	-99.7	1,163	15	-98.7	371	107	-71.2
ロシア	8,833	389	-95.6	7,032	18	-99.7	1,259	198	-84.3	542	173	-68.1
スペイン	7,295	134	-98.2	6,509	14	-99.8	495	21	-95.8	291	99	-66.0
中東地域	5,554	104	-98.1	4,504	9	-99.8	747	19	-97.5	303	76	-74.9
その他	90,321	8,530	-99.9	69,077	273	-100.0	8,779	703	-99.9	12,465	7,554	-99.4

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2021年3月17日付より筆者加工

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2注参照。